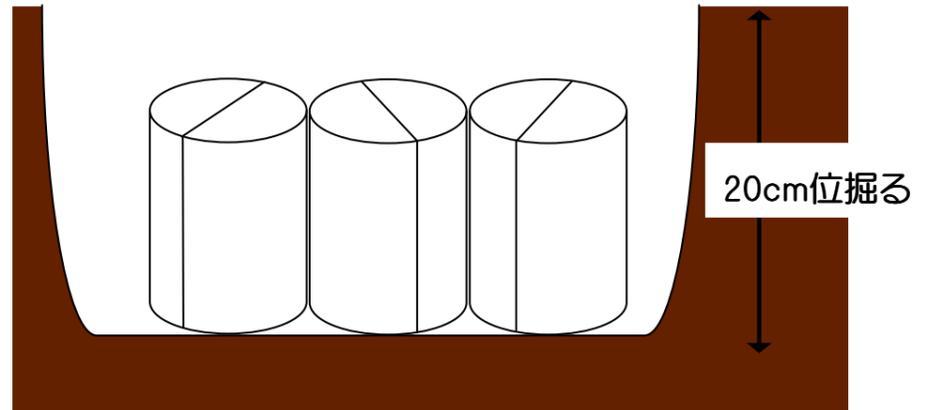


① 舞茸菌木の伏込み(埋込み)方法

— 舞茸菌木を伏込む際には次のことに注意して下さい。 —

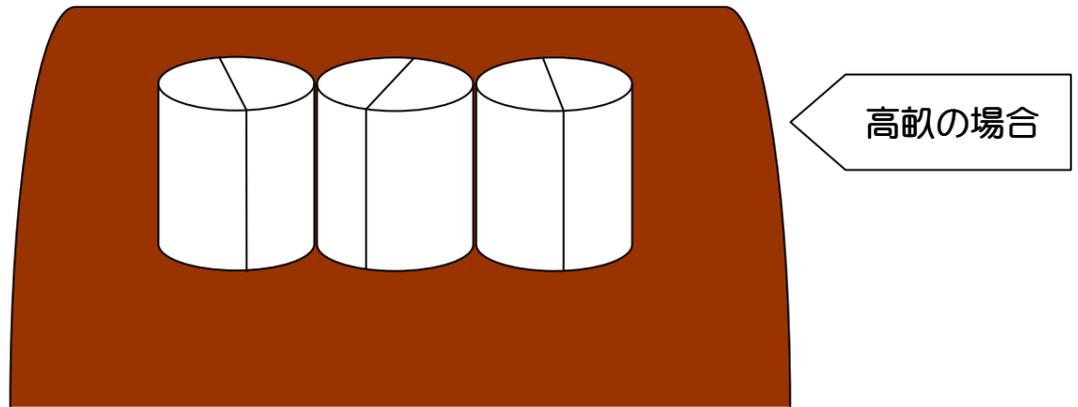
1. 伏込む場所は、木片や小石、雑草などをきれいに取り除いてください。
(収穫の時に小石などがマイタケにかまない様になるだけ取り除いて下さい。)
2. 水はけの良いところに伏込んで下さい。粘土質や凹地の排水の悪いところは避ける。
(水はけの悪い所は、高畝にして伏込んで下さい。下記①-2)

①-1 庭や畑、林地などに直接埋込む方法(土の温度変化が、外気に影響されにくい)



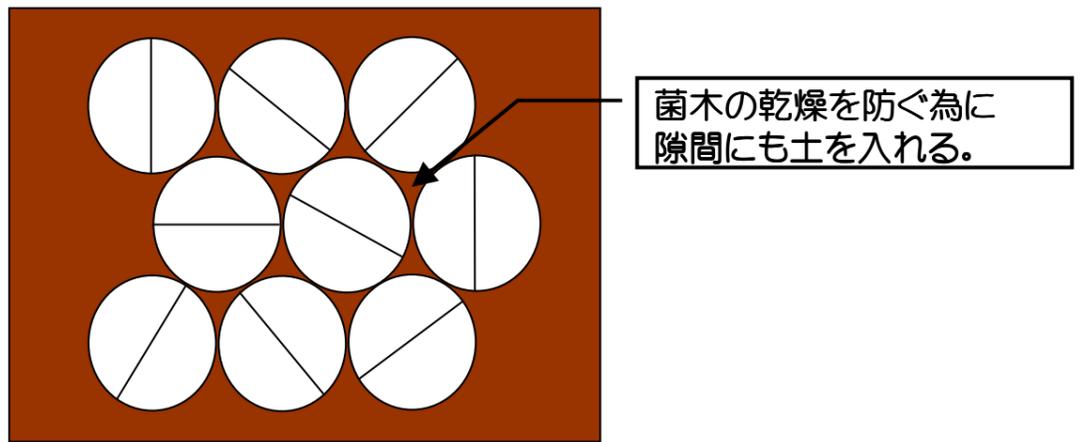
出来る限り水はけの良いところに伏込む、菌木にあわせて20cmくらい深さで土を取り除く。
(菌木の高さ16cmなので、掘り起こした高さまで埋め戻すと覆土4~5cmとなる。)

①-2 水はけの悪いところへ高畝したり板柵などを作り埋め込む方法



水はけの悪いところは高畝するか板柵などを作り菌木を並べる。
(高畝にすると雨などで、土が流れてしまうのでこまめに見て流された場合は再度覆土する。)

3. 必ずナイロン袋から取出して菌木どうしを接触させて並べる。(出来る限りすき間の無い様に)



4. 菌木の上には土を5cm程度かけて下さい。伏込み完了後、所々の土の深さを確認して下さい。
(土が深すぎると発生が遅れます。土が浅すぎると乾燥して発生しない場合があります。)

